

国際交流基金×朝日地球会議 2022 特別共催セッション

～アンドロイド研究者・石黒浩氏と「サピエンス全史」のユヴァル・ノア・ハラリ氏が対談～

国際交流基金では、2022年10月16日（日）～19日（水）にオンラインで開かれる「朝日地球会議 2022『希望と行動が世界を変える』」（主催：朝日新聞社）において、特別共催として10月18日（火）に対談を配信します。本対談は会期中の同19日（水）にも再配信予定です。

特別共催対談は「テクノロジーと社会—未来をどうつくる」と題し、アンドロイド研究の第一人者である石黒浩氏（大阪大学教授）と、世界的ベストセラー「サピエンス全史」や「ホモ・デウス」の著者として知られる歴史学者のユヴァル・ノア・ハラリ氏（ヘブライ大学教授）が対談します。AI やロボットなどの科学技術の急速な発展により、社会はますます便利になっています。一方、こうした技術によって、私たちの生活、仕事、社会の在り方、さらには人間の存在そのものが大きく変わっていく可能性があります。今後も飛躍的に発展していくであろう科学技術と、どのように向き合っていけばよいでしょうか。朝日新聞論説委員の井田香奈子氏のモデレーションのもと、東西の知の巨人と「人間社会の未来」を考えます。



朝日地球会議 2022 × JAPAN FOUNDATION 国際交流基金

特別共催対談
「テクノロジーと社会—未来をどうつくる」

2022.10.18 TUE 19:00~
オンライン配信

朝日地球会議2022公式サイトにて事前登録受付中！

石黒浩
(ロボット工学者・大阪大学名誉教授)

ユヴァル・ノア・ハラリ
(歴史学者・哲学者・ヘブライ大学教授)

記

【朝日地球会議 2022 概要】

タイトル：朝日地球会議 2022『希望と行動が世界を変える』

日時：2022年10月16日（日）～19日（水）

参加費：無料（要登録）

言語：日本語字幕あり

登録：<http://t.asahi.com/awfjf22> 『朝日地球会議 2022』公式ウェブサイト

主催：朝日新聞社 共催：テレビ朝日

特別共催：国際交流基金、東京大学未来ビジョン研究センター

後援：外務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

【国際交流基金特別共催対談『テクノロジーと社会—未来をどうつくる』 配信スケジュール】

<特別共催者あいさつ 佐藤百合 国際交流基金理事>

日時：2022年10月18日（火）19時05分開始

<特別共催対談『テクノロジーと社会—未来をどうつくる』>

日時：2022年10月18日（火）19時10分開始 再配信：10月19日（水）15時40分開始

登壇者：石黒浩（ロボット工学者、大阪大学大学院栄誉教授）

ユヴァル・ノア・ハラリ（歴史学者、哲学者、ヘブライ大学教授）

井田香奈子（朝日新聞論説委員）

概要：近年の人工知能（AI）やロボットの技術は、障害や病気で失われた機能に置き換わるなど、社会をより便利で豊かなものにする一方で、人を殺傷する兵器にも応用されるなど、多様な可能性をはらんでいる。いつか人が老いなどの身体的な制約から解かれ、今と全く違う存在になる兆しすら見えてきた。どこまでの技術の進展を許容すべきか。また、すべての人がその恩恵を享受できるのだろうか。「人とは何か」を、歴史学・哲学、ロボット学からそれぞれ追求してきた東西の知識人がともに語り、一人ひとりがどう未来に携わっていくか考える。

※プログラム開始時間は、朝日地球会議全体プログラム及び進行の都合で若干前後する可能性があります。

※朝日地球会議 2022 全体のプログラム詳細や最新情報は公式サイト（<http://t.asahi.com/awfjf22>）をご覧ください。

登壇者プロフィール（敬称略）	
	<p>石黒 浩（いしぐろ ひろし）／ロボット工学者、大阪大学教授</p> <p>1963 年、滋賀県生まれ。ロボット工学者、大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻（荣誉教授）、ATR 石黒浩特別研究所客員所長（ATR フェロー）。遠隔操作ロボットや知能ロボットの研究開発に従事。人間酷似型ロボット（アンドロイド）研究の第一人者。2011 年、大阪文化賞受賞。2015 年、文部科学大臣表彰受賞及びシェイク・ムハンマド・ビン・ラーシド・アール・マクトゥーム知識賞受賞。2020 年、立石賞受賞。</p>
	<p>ユヴァル・ノア・ハラリ（Yuval Noah Harari）／歴史学者、哲学者、ヘブライ大学歴史学部教授</p> <p>1976 年、イスラエル生まれ。オックスフォード大学で博士号を取得し、ヘブライ大学教授。専門は世界史、中世史、軍事史。著書に「サピエンス全史」「ホモ・デウス」「21 Lessons 21 世紀の人類のための 21 の思考」（いずれも河出書房新社）があり、65 か国語に翻訳され計 4000 万部以上売れる世界的ベストセラーとなっている。2019 年、パートナーのイツイク・ヤハフ氏とともに社会貢献企業「Sapienship」を設立し、教育や国際対話を通じて世界が直面する重要課題に関する議論を喚起する活動を行っている。</p>
	<p>井田 香奈子（いだ かなこ）／朝日新聞論説委員</p> <p>東京大学で社会心理学を専攻し、1992 年朝日新聞社に入社。司法、国際化、マイノリティーの権利などを担当し、ハーバード大学ウェザーヘッド国際問題研究所アソシエイト、ブリュッセル支局長、オピニオン報道部・国際報道部のデスクを経て、20 年から現職。</p>

以上